

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 26 日

福岡県知事 様

提出者

住 所 北九州市門司区小森江三丁目12番10号

九鉄工業株式会社 北九州本店

氏 名 取締役北九州本店長 森山 貞文

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 093-371-1661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

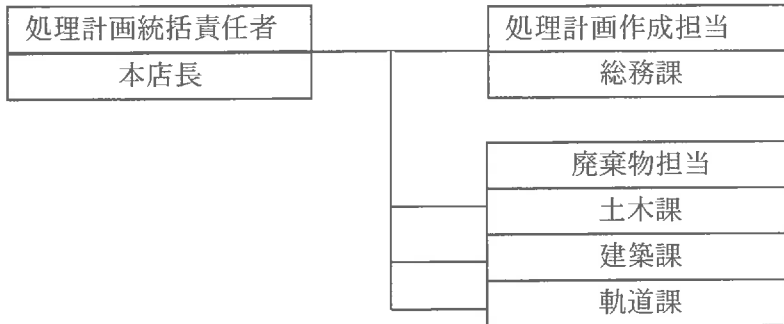
事業場の名称	九鉄工業株式会社 北九州本店
事業場の所在地	北九州市門司区小森江三丁目12番10号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業
② 事業の規模	完成工事高（令和5年度）8,350百万円
③ 従業員数	112 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状 別紙2のとおり	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の発生抑制を考慮した工法等の採用促進や資材の繰り返し使用の徹底など廃棄物の削減に努めた。道路・橋梁工事においてがれき類・アスコンがらが多く発生した。		
② 計画 別紙2のとおり	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 令和5年度実績を基に5%削減する計画を実施している。特に新築工事の設計・施工計画の策定にあたっては廃棄物の発生抑制の観点に立った使用材料の選定および工事方法の採用に努めるなど、計画目標の達成に向け取組みを強化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、金属くず等の分別を徹底して行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の減少に努め、分別を徹底し、自らも再生資材を積極的に使用する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

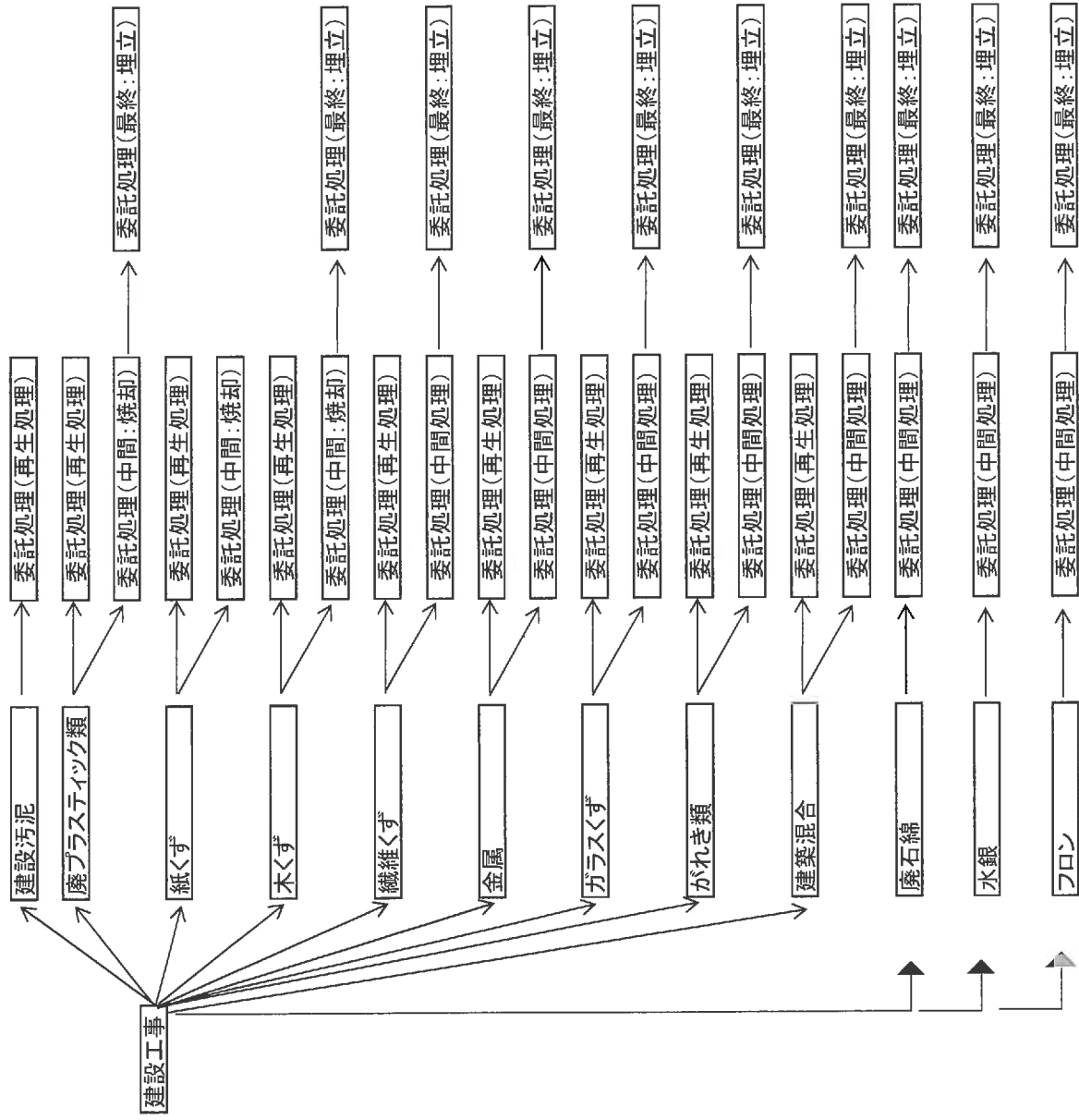
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状 別紙3のとおり	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	廃棄物は再生処理施設へ委託することを原則としている。		

② 計画 別紙3のとおり	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) できる限り再生利用業者へ委託することとし、優良認定を受けた処理業者に委託を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	排出量(t)		記事
	令和5年度実績	令和6年度計画	
アスコンがら	395.680	375.896	
コンクリートがら	3,896.680	3,701.846	
その他がれき類	749.970	712.472	
建設汚泥	44.000	41.800	
廃プラスチック類	27.926	26.530	
木くず	218.980	208.031	
伐採材・伐根材	2.630	2.499	
金属くず	0.155	0.147	
ガラス陶磁器くず	7.000	6.650	
廃石膏ボード	8.700	8.265	
混合廃棄物	136.617	129.786	
石綿含有産業廃棄物	15.270	14.507	
	0.000	0.000	
	0.000	0.000	
	0.000	0.000	
	0.000	0.000	
	0.000	0.000	
合 計	5,503.608	5,228.428	

別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
アスコンがら	395.680	71.240	395.680		
コンクリートがら	3,896.680	544.570	3,896.680		
その他がれき類	749.970	456.050	749.970		
建設汚泥	44.000	22.000	44.000		
廃プラスチック類	27.926	0.000	27.926		
木くず	218.980	24.200	218.980		
伐採材・伐根材	2.630	0.000	2.630		
金属くず	0.155	0.000	0.155		
ガラス陶磁器くず	7.000	0.000	7.000		
廃石膏ボード	8.700	0.000	8.700		
混合廃棄物	136.617	0.000	0.000		
石綿含有産業廃棄物	15.270	5.120	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
	5,503.608				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
アスコンがら	375.896	67.678	375.896		
コンクリートがら	3,701.846	517.342	3701.846		
その他がれき類	712.472	433.248	712.472		
建設汚泥	41.800	20.900	41.800		
廃プラスチック類	26.530	0.000	26.530		
木くず	208.031	22.990	208.031		
伐採材・伐根材	2.499	0.000	2.499		
金属くず	0.147	0.000	0.147		
ガラス陶磁器くず	6.650	0.000	6.650		
廃石膏ボード	8.265	0.000	8.265		
混合廃棄物	129.786	0.000	0.000		
石綿含有産業廃棄物	14.507	4.864	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
	5,228.428				